

これからの行事予定

病院周辺美化事業 花壇整備（後片付け）

公立病院の周りを彩っていた花壇の草花もその役目を終えようとしています
近づいてくる冬を前に花壇の後片付けを実施します

とき 11月8日（日曜日） 雨天決行
午前9時00分～1時間程度
集合 公立病院正面玄関前

多くの方のご協力をお願いします



住民懇談会（病院との意見交換会）

今年で5回目の開催となる住民懇談会を病院職員を交えて開催します
日頃、公立病院について感じている事、伝えたいこと、または、聞きたいことなど
この機会にみんなで話して合ってみてはどうでしょうか

とき 11月9日（月曜日） 午後6時30分～2時間程度
会場 中央公民館 2階 図書資料室

会員以外の方も参加できますので、知り合いの方をお誘いしての参加も大歓迎です

院内ボランティア活動

インフルエンザ予防接種の季節になりました。
支える会では、昨年に引き続き『受付介助』の院内ボランティアを始めます
協力いただける方の参加をお願いします

10月 27日
11月 月曜日と金曜日（23日を除く毎週）
12月 月曜日（毎週）



会員募集中！ 随時募集しています

会員数（10月1日現在） ・一般会員 196名 ・団体会員 1団体 ・法人会員 9法人
★年会費 1,000円
★問い合わせ 62-1439（会長宅） 62-2516（事務局）公立病院事務室でも入会できます

～編集後記～

雪虫が舞い、そろそろ冬支度を始める季節になりました。「北国の暮らしはお金がかかるらしいよ」と九州から送り出されて来たのですが、それは本当でした。子どもたちのつなぎや長靴、冬タイヤに冬ワイパー。毎年悩ましいですが、十勝の凜とした寒さや綺麗な雪景色には「北国で暮らす幸せ」を感じます。
(嶋野)

支える会 つうしん



公立芽室病院をみんなで支える会広報

第9号 2015年10月発行

ホームページアドレス

<http://www.support-memurohp.com>

内科の診療体制が変わりました

伊井医師が退職転出

9月30日付で、公立芽室病院におよそ3年間勤務頂いた伊井宏一内科医師が退職し島根県の病院に転任しました。
併せて10月1日より、豊嶋内科医師が産休休暇に入る為内科医が実質5人から3人体制になります。

内科医の後任のめどが立っていないことから、当面は3人の医師で頑張るとのことですが、診療体制が変わります。

内科外来の午前診療は、今まで同様に毎日受診できますが、内科外来の午後診療は、今までの週3日から毎週水曜日の1日に変更されます。

また、病棟は、旭川医大の第3内科からの応援医師により10月・11月は対応されることとなります。

産科も変わります

8月から産科をお手伝い頂いていた中陳欣也医師が、谷垣副院長（12月31日退職予定）の後任として10月1日付で正式に着任しました。

13年間にわたり産科で奮闘された谷垣副院長が退職されることになりましたが、後任に中陳医師を迎えお産ができる病院という公立芽室病院の特色は維持されることとなります。

内科外来 診療体制

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前診療	診察日	診察日	診察日	診察日	診察日
午後診療	休診日	休診日	診察日	休診日	休診日

医師不足による影響を考える

医師が不足すると次に挙げるような良くない結果につながると考えられます。

- ① 診療体制を維持することが難しくなる
- ② 外来の診察時間が長くなる
- ③ 入院を制限しなければならなくなり、ベッドの稼働率が下がる
- ④ ①②③の結果、収入が減少し収益が悪化、赤字経営が余儀なくされる
- ⑤ 医師の労働環境が繁忙を極め、医師が疲弊する

上記のようなことが懸念される中、町長も病院長も後任医師の確保に東方西走躍起になっています。

また、不足しているのは、医師だけなのか、看護師・技術職員の現状について病院に尋ねてみました。看護師については、今春、看護師4名、助産師1名の採用があったことに加えて、新規就労に3名の応募があること等から正職員の採用が好転していますが、一方で看護助手、介護士の採用で苦戦しています。看護助手、介護士が不足すると看護師がその仕事を補わなければならなくなり本来の仕事に影響があります。検査技師等技術職員では、今春、退職があったレントゲン技師（女性技師）の補充ができていません。公立病院では、野坂先生を先頭に乳がん検診に力を注いでいますが、レントゲン技師はマンモグラフィを担当しますので、女性技師の採用が望まれます。

医師以外の病院職員も十分とはいえないのが実状ですが、職員の皆さんの頑張りに期待しながら、利用者・町民として何が出来るかを考える必要があると思われまます。

26年度 患者満足度調査の結果報告書について

公立芽室病院が、外来及び入院患者を対象に実施したアンケート調査を
基に『26年版 患者満足度調査報告書』をとりまとめました。
例年、発行されている報告書でありますので、ご存知の方も多いと思
いますが、その中から特徴的な事柄を抜粋します。



患者満足度調査報告書

【入院】

①公立病院を選んだ理由

高い順から「自宅・職場・学校から近い」19.3%、「町立の病院なので安心」18.2%、「かかりつけ医師がいる」15.9%、「他の医療機関からの紹介」12.5%となっています。

②診療及び医師・職員についての設問

「満足」「やや満足」を合すると70～80%に達して高い評価となっています。これに「普通」を加えると95%を超えています。

③病院施設など環境面についての設問

「満足」「やや満足」の良回答よりも「普通」と回答した割合が多く、「やや不満」「不満」の回答も多い結果となった。

入院生活の総合的評価では「満足」「やや満足」を合すると73.8%の回答となり、「普通」という回答が14.3%、「やや不満」「不満」は4.8%となっている。（未回答7.1%）

【外来】

①待ち時間についての設問

全科を通じて、「30分以内」に診察を受けた方が62.3%、「1時間以内」が17.3%となっています。また、予約時間から「30分以内」に診察を終えた患者さんが、内科、整形ともに前年比よりも増えていて、予約制の効果が表れていると考えられます。

待ち時間に対する感想については、「短い」「やや短い」と感じた方は37.3%、「やや長い」「長い」と感じた方が14.7%、「普通」と答えた方が45.9%と最も多く、待ち時間に対する利用者の理解の表れと考えることが適切ではないかと思われます。

②医師及び職員に関する設問、院内環境面についての設問では、ともに「満足」「やや満足」「普通」の回答が2年連続して向上している。

受診の満足度、今後の利用の意向等の総合的評価については、約70%が良回答であり、年々評価が高くなっている

（患者満足度調査結果報告書については、公立病院事務室にお問い合わせ下さい）

公立芽室病院 出前講座 って知っていますか？

公立芽室病院では、公立芽室病院の医師、看護師、技師、事務職などのスタッフがそれぞれの話題を持って、住民のところに出向いて身近にお話しする準備ができています。

すでに、町内会単位での実施もされていて好評でした。

普段の診療ではなく、ゆっくりした時間の中で、医師の話聞くことなどなかなか機会がありませんが、町内会、老人会、PTA、ママ友のグループなどで利用してみてもどうでしょうか？

医師だけでなく、看護師や技師の取組みなどの話を聞いて初めて知ることも沢山あると思います。



小児科医の服部先生にお話をお聞きしました！



服部 哲夫先生

Q1 出身地はどちらですか？

三重県の尾鷲市、日本で一番雨が多い所です。

Q2 医師を目指したきっかけ等ありますか？

医師になったと言いますか、小児科医を選んだのは、昔から子どもが好きだったからですね。小さい赤ちゃんが好きでしたし、ちょうど新生児学が発展していく黎明期だったこともあって、特に新生児を専門にみてきました。今も、診察室に子どもが少し遊ぶおもちゃを置いたり、壁に子どもが好きなキャラクターを貼ったりして、子どもと楽しみながらお仕事しています。お母さんが元気でないと、子どもさんも元気出ませんからね。お母さんにも笑顔で帰ってもらえるように、と思って接しています。

Q3 医師のお仕事の中で印象に残っていること等教えてください。

NICUの医師として働いていた時、中学校3年生の白血病の女の子がいましたね。とても辛い病気なのですが、「中治り」と言って、一時的に良くなることがあるんですね。でも、それは本当に良くなっているわけではなく、その後悪化してしまうのです。その中治りの時、女の子が母親・父親に対し「心配ないよ、大丈夫だからね」と両親を安心させようとしていました。母親は涙をこらえきれず部屋を飛び出してしまい、それを父親が追いかけてとバタバタとしたのですが…、一番辛い思いをしているはずの女の子が、両親を思いやる気持ちは大したものだと思いますね。

Q4 好きな言葉や、座右の銘を教えてください。

「勢い孤なれば和を取れ」

囲碁の格言です。不利なところでは戦わないほうがよい、戦っても傷を広げるだけで、「和」が大切だという意味です。

Q5 自分を動物に例えると？

うさぎ。うさぎ年なので。調子が悪くなると穴にもぐります（笑）

Q6 好きな食べ物は？

お酒ですね。日本酒かワインが好きです。今ね、ダイエット中なので。15キロ痩せましたよ。病院食を3食頂いていますし、ストレスもなく、とても健康的に痩せました。身体も軽くなって快適です。以前はしゃがんだりするのも大変でした（笑）

Q7 支える会の会員や、町民の皆さんに向けて一言お願いします。

病院の沢山のお花、ありがとうございます。
小児科2人でチームワークをとってやっています。できるだけ患者さんのニーズに合わせていきたいと思っていますので、とにかくお役に立てるように、と思っています。

～インタビューを終えて～



診察の時も優しい先生ですが、今日もとても優しくお話してくださいました。無知な私は分からない言葉も多々（^^;）あったのですが、メモ紙に漢字を書いてくださったり、丁寧に説明してくださったりと大変親切にして頂きました。まちなかをお散歩なさる時など、子どもたちと挨拶を交わすこともあるそうで、「芽室の子はきちんとしていますね」と仰ってくださいまして、私も嬉しく思いました。